



核のごみの問題について考えた  
市民講座

市民講座では、核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団の山田清彦事務局長が「止めよう再処理！核のゴミどうする？」と題し講演。東京電力福島第1原発の処理水海洋放出計画に触れながら「再処理工場から排出される核のごみは、もしかすれば

# 核のごみどうする？

核燃・津軽の会  
総会・市民講座 「深刻な問題」訴え 弘 前

核燃・だまっちゃんおられん津軽の会(宮永崇史代表)の第16回総会・第38回市民講座が8日、弘前文化セン

ターで開かれ、参加した約40人が本県の核燃料サイクル施設や核のごみを巡る問題について考えた。

本当に大変な量で、深刻な問題」と指摘。また「ロシア軍の原子力施設への攻撃を見ていると、本県の核燃サイクル施設への核テロ事件はいつ起きてもおかしくない」と訴えた。

総会では「原発・核燃に依存する青森県の核燃マネーからの決別とエネルギー政策の転換を粘り強く求めていく」旨の決議案を満場一致で採択した。

(石岡由美子)